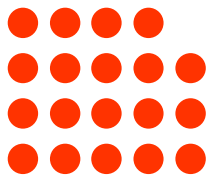


# がん登録の概要と 全国がん登録の届出項目

● 弘前大学医学部附属病院 医療情報部

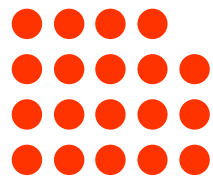
● 弘前大学大学院医学研究科地域がん疫学講座(兼任)  
(青森県がん登録事業委託先)

松坂方士

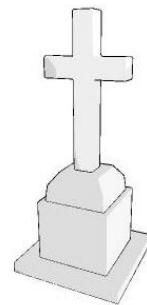
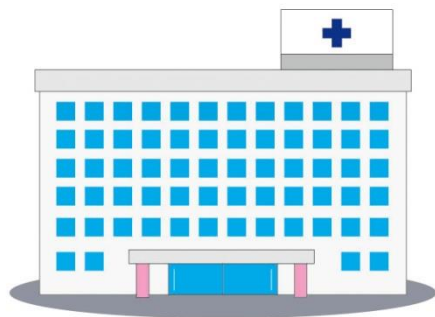


# がん登録について





# がん登録の概要



氏名  
性別  
生年月日  
住所

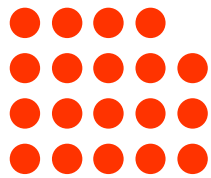
発見経緯

原発部位  
組織診断名  
病期  
診断の根拠  
実施した治療

死亡年月日  
死因

登録





# 全国がん登録の概要



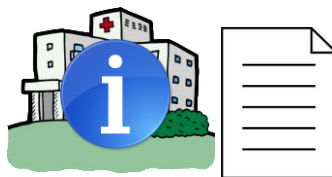
全国がん登録



診断、治療



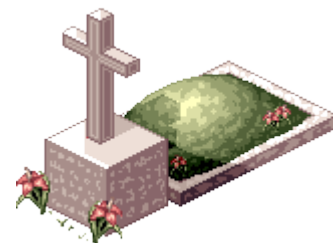
継続治療

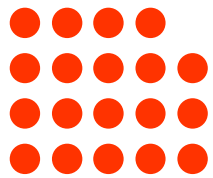


緩和ケア

死亡  
診断書

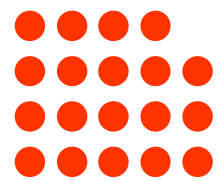
市町村役場





# 全国がん登録 届出項目

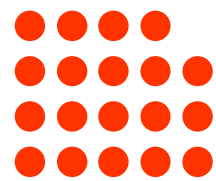




# 届出対象 = “がん” の診断

- がん登録に“確定診断”の考え方はありません。  
(細胞診、組織診がなくても、“がん”です。)
- 医師が“がん”だと思った時点で診断です。  
→ がん登録の届出対象の症例になります。
- 検査無しでも、“がん”だと思えば届出対象です。
- 医師が“がん”だと思った理由が、届出項目の「診断根拠」です。

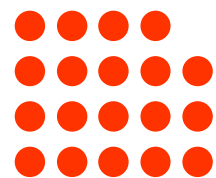




# 届出対象になる“がん”

- ・ すべての **悪性腫瘍**
- ・ すべての **脳腫瘍（良悪性を問わず）**
- ・ 脳腫瘍以外の **中枢神経腫瘍（良悪性を問わず）**  
脊髄腫瘍、脊髄膜腫瘍、馬尾腫瘍
- ・ **境界悪性の卵巣腫瘍**  
のう胞腺腫、のう胞腫瘍  
漿液性表在性乳頭腫瘍
- ・ **消化管間質腫瘍（GIST）**





## “初回治療”の定義

- 一連の“がん”診断が終了した後で、当初に計画された治療の範囲です。
- 治療開始後に追加された治療は含みません。
- 再発後に実施された治療は含みません。
- 「経過観察(BSC)」も初回治療に含みます。
- はっきりしない場合には、診断からおおよそ半年間の治療を“初回治療”と考えて下さい。





# 登録項目の変化

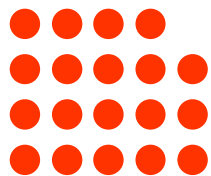
青森県がん登録		全国がん登録	変化
医療機関	→	病院等の名称	○
患者ID	→	診療録番号	○
	→	カナ氏名	★
姓・名	→	氏名	○
性別	→	性別	○
生年月日	→	生年月日	○
住所	→	診断時住所	○
左右	→	側性	○
部位	→	原発部位	○
病理診断名	→	病理診断	○
	→	診断施設	★
初発・再発	→	治療施設	▲
診断方法	→	診断根拠	○
自施設診断日	→	診断日	○
初回診断日	→		×

青森県がん登録		全国がん登録	変化
発見経緯	→	発見経緯	○
病巣の拡がり	→	進展度・治療前	▲
	→	進展度・術後病理学的	▲
UICC TNM	→		×
手術(直達)	→	外科的治療	△
体腔鏡的手術	→	鏡視下治療	△
内視鏡的手術	→	内視鏡治療	△
上記治療の結果	→	～治療の範囲	△
放射線治療	→	放射線療法	△
化学療法	→	化学療法	△
免疫療法	→		×
内分泌療法	→	内分泌療法	△
その他の治療	→	その他の治療	△
死亡日	→	死亡日	○

○: 変更なし    △: 小幅な変更    ▲: 大幅な変更

★: 新設    ×: 廃止





# 施設情報

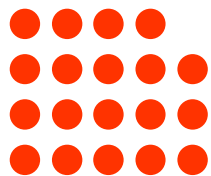
## 病院等の名称

医療機関の区別が可能であれば略称可  
診療所は医療法人名もお願いします。

## 診療録番号

いわゆるカルテ番号(ID番号)です。  
患者情報の問い合わせの際に必要です。





# 個人識別情報

## 氏名(カナ氏名)

住民票、戸籍と同じ漢字でお願いします。  
外国人の場合はカタカナ表記です。

## 性別

1: 男性

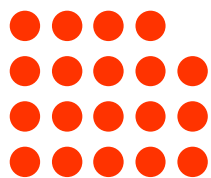
2: 女性

## 生年月日

## 診断時住所

市町村名も略さずに記入して下さい。  
アパート名、部屋番号までお願いします。





# 診断情報 1

## 側性

1 右側      2 左側      3 両側      7 側性なし  
9 不明(原発不明、原発側不明)

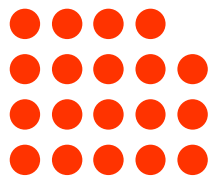
## 原発部位

できるだけ詳細にお願いします。(右肺中葉、など)  
ICD-O-3 局在コードでも構いません。

## 病理診断

病理不明の場合は、“不明”と記載して下さい。  
ICD-O-3 形態コードでも構いません。





# 診断情報 2

## 診断施設

1 自施設診断

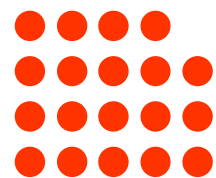
2 他施設診断

最初に“がん”と診断した施設についてです。

再発の診断をした施設ではありません。

自施設で診断に到る検査の一部を実施した場合、  
“自施設診断”に含まれません。





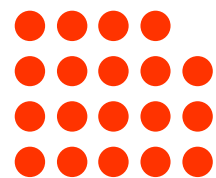
# 診断情報 3

## 治療施設

- 1 自施設で初回治療なし、他施設に紹介
- 2 自施設で初回治療を開始
- 3 他施設で初回治療開始、自施設で継続
- 4 他施設で初回治療終了後、自施設に受診
- 8 その他

“その他”は、自施設で診断に到る検査の一部を実施した(診断施設ではない)などが想定されます。





# 診断情報 4

## 診断根拠

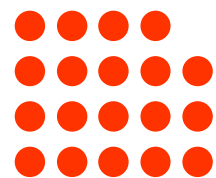
- 1 原発巣の組織診
- 2 転移巣の組織診
- 3 細胞診
- 4 部位特異的腫瘍マーカー
- 5 臨床検査
- 6 臨床診断
- 7 不明

医師が“がん”だと思った理由です。

内視鏡(生検なし)や画像診断は“臨床検査”です。

検査無しでの診断は“臨床診断”です。





# 診断情報 5

## 診断日

“診断根拠”の検査を実施した日です。  
検査の結果が判明した日ではありません。  
和暦、西暦のいずれでも構いません。  
前施設で診断された症例の場合には、  
”がん”として自施設に初診した日として下さい。  
必ず診断日あるいは初診日を記入して下さい。  
できるだけ年月までは記入をお願いします。



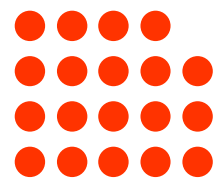


## 発見経緯

- 1 がん検診・健康診断・人間ドックでの発見例
- 3 他疾患の経過観察中の偶然発見
- 4 剖検発見                      8 その他                      9 不明

診断の“きっかけ”についての項目です。  
検診・健診は地域や職場での検査を指します。  
外来での「年1回の検査」は“他疾患の～”です。  
入院時一般検査での発見は“他疾患の～”です。  
第1“がん”を診断中に偶然に第2“がん”を発見  
した場合は、“他疾患の～”です。





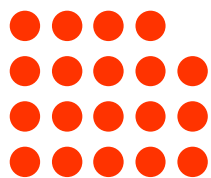
# 病期情報 1

## 進展度・治療前

400	上皮内	410	限局
420	所属リンパ節転移	430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移	777	該当せず
499	不明		

治療前の検査で判明した“がん”の拡がりです。  
白血病など拡がり不明なものは“該当せず”  
CT等の画像診断を実施せず、カルテに転移などの  
記載がない場合には“転移なし”の判断です。





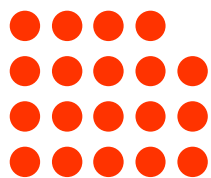
## 病期情報 2

### 進展度・術後病理学的

400	上皮内	410	限局
420	所属リンパ節転移	430	隣接臓器浸潤
440	遠隔転移	660	手術無、術前治療
777	該当せず	499	不明

手術標本の結果における“がん”の拡がりです。  
内視鏡治療のみでは“上皮内”又は“限局”  
(リンパ節郭清がない場合、転移なしの判断です。)





# 治療情報 1

外科的治療の有無  
鏡視下治療の有無  
内視鏡治療の有無

1 自施設で施行

2 自施設で施行なし

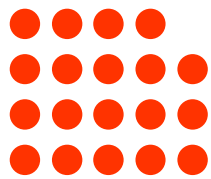
9 施行の有無不明

体腔鏡補助下治療は“鏡視下治療”

鏡視下で途中から開胸等に移行は“外科的治療”

内視鏡後に追加で開腹切除は“外科的治療”のみ





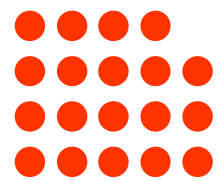
## 治療情報 2

### 外科的・鏡視下・内視鏡治療の範囲

- |           |             |
|-----------|-------------|
| 1 原発巣切除   | 4 姑息的な観血的治療 |
| 6 観血的治療なし | 9 不明        |

“原発巣切除”は治癒切除の有無と関係なしです。  
症状緩和的な治療(バイパス術等)は“姑息的～”





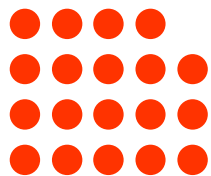
## 治療情報 3

放射線療法の有無  
化学療法の有無  
内分泌療法の有無  
その他の治療の有無

- 1 自施設で施行
- 2 自施設で施行なし
- 9 施行の有無不明

放射線療法は、内照射、外照射とも含みます。  
分子標的薬は化学療法に含まれます。  
BGC膀胱注、ラジオ波焼灼術などは“その他”  
TACEは、“化学療法” + “その他”





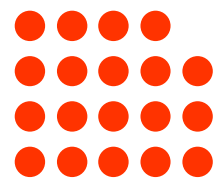
# 死亡情報

## 死亡日

自施設で死亡した場合のみ記入して下さい。  
他施設に紹介した場合には空欄で結構です。  
和暦、西暦のいずれでも構いません。

稀に、死亡診断書の死亡日と医療事務(会計)での死亡日が異なる場合があります。その場合には死亡診断書の死亡日を優先して下さい。





## 困ったときは...

- 選択肢には、必ず“不明”が用意されています。
- テキスト記入の際にも“不明”で大丈夫です。  
(原発部位不明、病理診断不明 など)
- 2016年以後、継続して登録していただく必要があります。
- それぞれの施設で、継続可能な体制の準備をお願いします。
- 院内がん登録の立ち上げ等、院内システムの運用について県担当課までご相談下さい。

